

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）



平成 18 年 7 月 27 日

上場会社名 株式会社 ルネサンス

(コード番号: 2378 東証第1部)

(URL <http://s-renaissance.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長執行役員 齋藤 敏一 TEL : (03) 5600- 5312
 責任者役職・氏名 取締役執行役員経理財務本部長 渡邊 清

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 当第 1 四半期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第 5 号 平成 17 年 12 月 9 日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第 8 号 平成 17 年 12 月 9 日）を適用しております。

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	7,272	(8.6)	282	(△8.4)	256	(△13.1)	109	(—)
18 年 3 月期第 1 四半期	6,695	(9.3)	308	(12.9)	294	(15.5)	△6	(—)
(参考)18 年 3 月期	28,783	(10.0)	2,523	(11.0)	2,469	(14.2)	1,211	(0.6)

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	5	50	—	—
18 年 3 月期第 1 四半期	△0	83	—	—
(参考)18 年 3 月期	59	23	—	—

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年第 1 四半期増減率であります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）におきましては、新規のクラブとして 4 月に広島県立総合体育館フィットネスプラザ（広島市中区）の業務受託（指定管理者制度）を開始し、6 月に名古屋小幡（名古屋市守山区）、山形（山形県山形市）の直営 2 クラブを出店いたしました。

この結果、当第 1 四半期末のクラブ数は、直営 78 クラブ、業務受託 5 クラブ、フランチャイズ 1 クラブの計 84 クラブとなりました。

また、同業スポーツクラブとの M&A として、6 月に住友商事株式会社の子会社である株式会社玉島スポーツプラザの全発行済株式を取得し、子会社といたしました。当該会社については、9 月に吸収合併し、運営する 4 クラブを直営化する予定です。

さらに、都市部を中心として新たな顧客層の獲得とブランドの強化を図るため、スタジオ単体型新業態「ドゥミ ルネサンス」の展開を開始し、5 月に目黒（東京都品川区）、6 月に渋谷（東京都渋谷区）の 2 店舗を出店いたしました。

既存クラブにつきましては、当第 1 四半期末会員数は前年同期比 0.4% 減と微減いたしました。売上高はパーソナルトレーニング等の会費外収入の強化により、前年同期比 1.0% 増となりました。

新規事業への取り組みとしましては、6月に医療制度改革法が成立したことに伴い、医療費抑制のための生活習慣病対策として、平成20年4月から医療保険運営者に健康診断が義務付けられ、保健指導の徹底が求められます。当社は提携企業と協力して生活習慣病予防プログラムを提供するため、本年1月よりヘルスケア推進部を設置し、保健指導事業への準備を進めております。

また、4月に旅行業の免許を取得し、クラブの会員を対象としたオリジナル旅行の企画・販売を開始し、会員に対する付加サービスの提供に努めております。

以上の結果、当第1四半期の売上高は72億72百万円（前年同期比8.6%増）、経常利益は出店数の増加に伴う初期費用の増大及び新規事業立ち上げに伴う費用等により2億56百万円（前年同期比13.1%減）となりました。四半期純利益は前年同期に対し黒字化し1億9百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	19,046	7,507	39.4	376	10
18年3月期第1四半期	17,511	6,606	37.7	330	50
(参考)18年3月期	16,669	7,626	45.7	380	63

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	116	△353	1,933	1,994
18年3月期第1四半期	△1	281	△141	1,697
(参考)18年3月期	2,703	△2,009	△1,954	299

〔財政状態の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末残高（平成18年3月期）と比較して16億95百万円増加し、19億94百万円となりました。

これは主として、株式会社玉島スポーツプラザの住商フィナンシャルマネジメント株式会社よりの借入金15億60百万円の返済資金として、当社が資金調達し、株式会社玉島スポーツプラザへ同額短期貸付を行ったことなどによるものであります。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の増加は、1億16百万円となりました。

これは主として税金等調整前四半期純利益2億9百万円、減価償却費2億95百万円、法人税等の支払額3億34百万円などによるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動に使用した資金は、3億53百万円となりました。

これは主として敷金・保証金の差入による支出1億85百万円、有形固定資産の取得による支出97百万円、子会社株式の取得による支出46百万円などによるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動で獲得した資金は、19億33百万円となりました。

これは主として短期借入金純増加額21億50百万円、配当金の支払額1億99百万円などによるものであります。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書
以 上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	15,600	900	450
通 期	33,000	3,000	1,650

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)82円67銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期の業績については、売上高、経常利益、当期純利益とも概ね計画通りに推移いたしております。よって中間期ならびに通期の業績予想については、平成18年5月10日の公表数値から変更はいたしておりません。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	434	397	36	9.3	299
2 売掛金	483	422	61	14.6	468
3 たな卸資産	535	437	98	22.5	455
4 短期貸付金	1,560	1,300	260	20.0	—
5 その他	1,069	1,442	△373	△25.9	944
流動資産合計	4,083	3,999	83	2.1	2,168
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	4,703	4,079	624	15.3	4,663
(2) 工具器具備品	956	663	293	44.2	793
(3) その他	1,080	1,250	△169	△13.6	1,071
有形固定資産合計	6,740	5,993	747	12.5	6,528
2 無形固定資産	465	489	△23	△4.8	474
3 投資その他の資産					
(1) 敷金・保証金	5,676	4,529	1,147	25.3	5,340
(2) その他	2,092	2,512	△419	△16.7	2,170
貸倒引当金	△12	△12	—	—	△12
投資その他の資産合計	7,756	7,029	727	10.3	7,497
固定資産合計	14,962	13,511	1,450	10.7	14,501
資産合計	19,046	17,511	1,534	8.8	16,669

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	290	272	17	6.5	187
2 買掛金	188	138	50	36.7	128
3 短期借入金	5,153	4,129	1,023	24.8	3,020
4 前受金	1,032	1,198	△166	△13.9	905
5 賞与引当金	209	192	16	8.7	384
6 その他	2,010	1,784	226	12.7	1,772
流動負債合計	8,884	7,715	1,168	15.2	6,398
II 固定負債					
1 長期借入金	1,640	2,143	△503	△23.5	1,640
2 退職給付引当金	412	403	9	2.2	398
3 役員退職慰労 引当金	—	90	△90	—	105
4 その他	603	552	50	9.1	500
固定負債合計	2,655	3,189	△534	△16.8	2,644
負債合計	11,539	10,905	634	5.8	9,043
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	2,210	—	—	—	—
2 資本剰余金	2,146	—	—	—	—
3 利益剰余金	3,147	—	—	—	—
株主資本合計	7,504	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	2	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	2	—	—	—	—
純資産合計	7,507	—	—	—	—
負債、純資産合計	19,046	—	—	—	—
(資本の部)					
I 資本金	—	2,210	—	—	2,210
II 資本剰余金					
1 資本準備金	—	2,146	—	—	2,146
資本剰余金合計	—	2,146	—	—	2,146
III 利益剰余金					
1 利益準備金	—	69	—	—	69
2 当期末処分利益	—	2,178	—	—	3,196
利益剰余金合計	—	2,247	—	—	3,266
IV その他有価証券評価 差額金	—	1	—	—	2
資本合計	—	6,606	—	—	7,626
負債、資本合計	—	17,511	—	—	16,669

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	7,272	6,695	576	8.6	28,783
II 売上原価	6,596	6,001	595	9.9	24,826
売上総利益	676	694	△18	△2.6	3,956
III 販売費及び 一般管理費	393	386	7	2.0	1,433
営業利益	282	308	△25	△8.4	2,523
IV 営業外収益	9	16	△7	△43.5	67
V 営業外費用	35	30	5	18.3	120
経常利益	256	294	△38	△13.1	2,469
VI 特別利益	—	0	0	—	2
VII 特別損失	46	310	△264	△85.2	367
税金等調整前 四半期(当期)純利益	209	△16	225	—	2,104
税金費用	100	△9	109	—	893
四半期(当期)純利益	109	△6	116	—	1,211

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(参考)
	(平成19年3月期 第1四半期)	(平成18年3月期 第1四半期)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益(△純損失)	209	△16	2,104
減価償却費	295	245	1,183
退職給付引当金の増加額(△減少額)	13	△28	△33
前払年金費用の増加額	△28	—	△38
賞与引当金の増加額(△減少額)	△175	△157	33
固定資産除却損	46	3	39
減損損失	—	307	307
受取利息及び受取配当金	△5	△6	△23
支払利息	11	13	51
売上債権の増加額	△14	△8	△55
たな卸資産の増加額	△79	△19	△38
前払費用の増加額	△161	△149	△74
仕入債務の増加額	163	125	30
未払金の増加額(△減少額)	△38	53	151
未払費用の増加額	28	32	57
前受金の増加額(△減少額)	126	164	△128
未払消費税等の増加額(△減少額)	16	31	△44
その他	46	△171	45
小 計	454	419	3,568
利息及び配当金の受取額	1	2	9
利息の支払額	△5	△7	△48
法人税等の支払額	△334	△416	△826
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	△1	2,703
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
子会社株式取得による支出	△46	—	—
有形固定資産の取得による支出	△97	△241	△1,969
無形固定資産の取得による支出	△30	△22	△80
有形固定資産売却による収入	—	1,040	1,114
敷金・保証金の差入による支出	△185	△511	△1,140
敷金・保証金の回収による収入	14	10	47
その他	△9	6	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353	281	△2,009
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増加額(△純減少額)	2,150	400	△300
長期借入金返済による支出	△17	△242	△1,155
配当金の支払額	△199	△299	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,933	△141	△1,954
IV 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	1,695	138	△1,259
V 現金及び現金同等物の期首残高	299	1,559	1,559
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	1,994	1,697	299